



2019年8月9日

各 位

会 社 名 株式会社スマートバリュー
代 表 者 名 代表取締役社長 渋谷 順
(コード番号：9417)
問い合わせ先 取締役経営管理管掌 藤原 孝高
TEL. 06-6448-1711

モビリティ向け IoT プラットフォームを活用した

フリートソリューションサービス提供のお知らせ

当社は、本日、モビリティ向け IoT プラットフォームを活用したフリートソリューションサービスを、野村証券株式会社（本社：東京都中央区、代表執行役社長：森田 敏夫、以下 野村証券）に、「野村証券専用の IoT フリートソリューションサービス」として提供を開始することを決定しましたことをご知らせいたします。

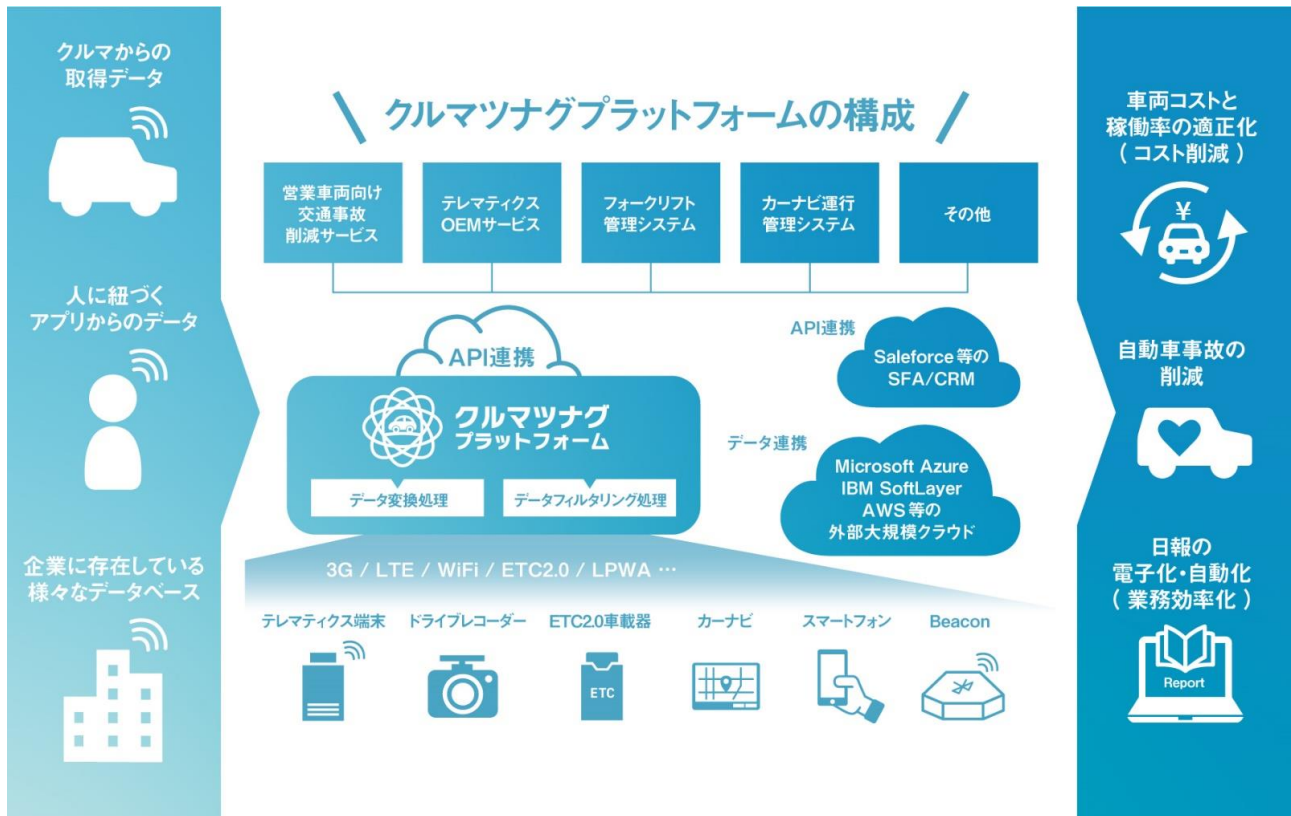
記

1. IoT フリートソリューションサービスの概要

当社と野村証券は、当社が開発したモビリティ向け IoT プラットフォーム「クルマツナグプラットフォーム」を基盤とした全国 250 社 15,000 台の販売実績があるテレマティクスサービス「CiEMS 3G」を採用決定し、それに併せて 3 万人以上の利用者実績があるアプリケーションサービス「CiEMS Report」を全国の営業社員が利用するといった「野村証券専用の IoT フリートソリューションサービス」を開発し、2019 年 10 月 1 日（火）よりサービス導入することを発表いたします。

2. 野村証券専用サービスの特徴

今回開発した専用サービスでは、インターフェイスとなる Web、アプリ側でソリューション項目や機能を追加することで、様々なビッグデータを解析し、野村証券のニーズにあった情報を提供することができます。野村証券が利用する全営業車の走行データや全国の営業社員のアクティビティ・データを結びつけることで、運転技能診断や運転負担の測定を行い「安全運転支援」や交通事故の未然防止を図るとともに、営業車の予約機能と車両稼働率データを元に適切な「社内カーシェアリング化」を進め、自動車日報の自動化や日々の外交の走行経路データを解析し多くのお客様と向き合う時間創出など「生産性向上・業務効率化」を見込んでいます。また、最適な車両利用を進めることで CO₂ 低減などの「環境負荷軽減」も期待されています。



3. 野村証券の概要

(1) 名 称	野村証券株式会社株式会社	
(2) 所 在 地	東京都中央区日本橋1丁目9番1号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 森田 敏夫	
(4) 事 業 内 容	証券業	
(5) 資 本 金	10,000,000 千円	
(6) 設 立 年 月 日	2001年5月	
(7) 当社と当該会社との関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

4. 当該サービスを担当する部門

クラウドソリューション事業フリートサービス Division が担当いたします。

5. 当該サービスの開始のために特別に支出する金額及び内容

現時点にて特記する事項はありません。

6. 業績への影響

本件の業績に与える影響につきましては精査中であります。2019年8月開示予定の決算短信において、2020年6月期の連結業績予想に織り込んで開示する予定です。

なお、詳細内容につきましては、別紙プレスリリースをご参照下さい。

以上

【別紙】

2019年8月9日
株式会社スマートバリュー

野村証券株式会社がモビリティ向け IoT プラットフォームを活用した フリートソリューションサービスを全国の営業店に導入

膨大な走行データを瞬時に分析し「安全運転向上」×「生産性向上」×「環境負荷軽減」へ

株式会社スマートバリュー（証券コード：東証一部9417、本社：大阪市西区、代表取締役社長：渋谷 順、以下：スマートバリュー）は、モビリティ向け IoT プラットフォーム「クルマツナグプラットフォーム」を基盤とした全国250社15,000台の販売実績があるテレマティクスサービス「CiEMS 3G」を、野村証券株式会社（本社：東京都中央区、代表執行役社長：森田 敏夫、以下：野村証券）が採用決定し、それに併せて3万人以上の利用者実績があるアプリケーションサービス「CiEMS Report」を全国の営業社員が利用するといった「野村証券専用のIoTフリートソリューションサービス」を開発し、2019年10月1日（火）よりサービス導入することを発表いたします。

1. 野村証券専用サービスの特徴

政府が策定した科学技術基本計画「Society5.0」や経済産業省の「Connected Industries」では、企業や団体が有する多様なデータの連携促進が提唱されています。複数のデータホルダーの異なるデータを連携させ活用することで、サービスやインフラの利便性の向上、新たなサービスの開発などに繋がる可能性があるため注目が集まっています。

今回開発した専用サービスでは、インターフェイスとなるWeb、アプリ側でソリューション項目や機能を追加することで、様々なビッグデータを解析し、野村証券のニーズにあった情報を提供することができます。野村証券が利用する全営業車の走行データや全国の営業社員のアクティビティ・データを結びつけることで、運転技能診断や運転負担の測定を行い「安全運転支援」や交通事故の未然防止を図るとともに、営業車の予約機能と車両稼働率データを元に適切な「社内カーシェアリング化」を進め、自動車日報の自動化や日々の外交の走行経路データを解析し多くのお客様と向き合う時間創出など「生産性向上・業務効率化」を見込んでいます。また、最適な車両利用を進めることでCO₂低減などの「環境負荷軽減」も期待されています。

2. 今後の計画

下記新サービスの構築を予定しています。

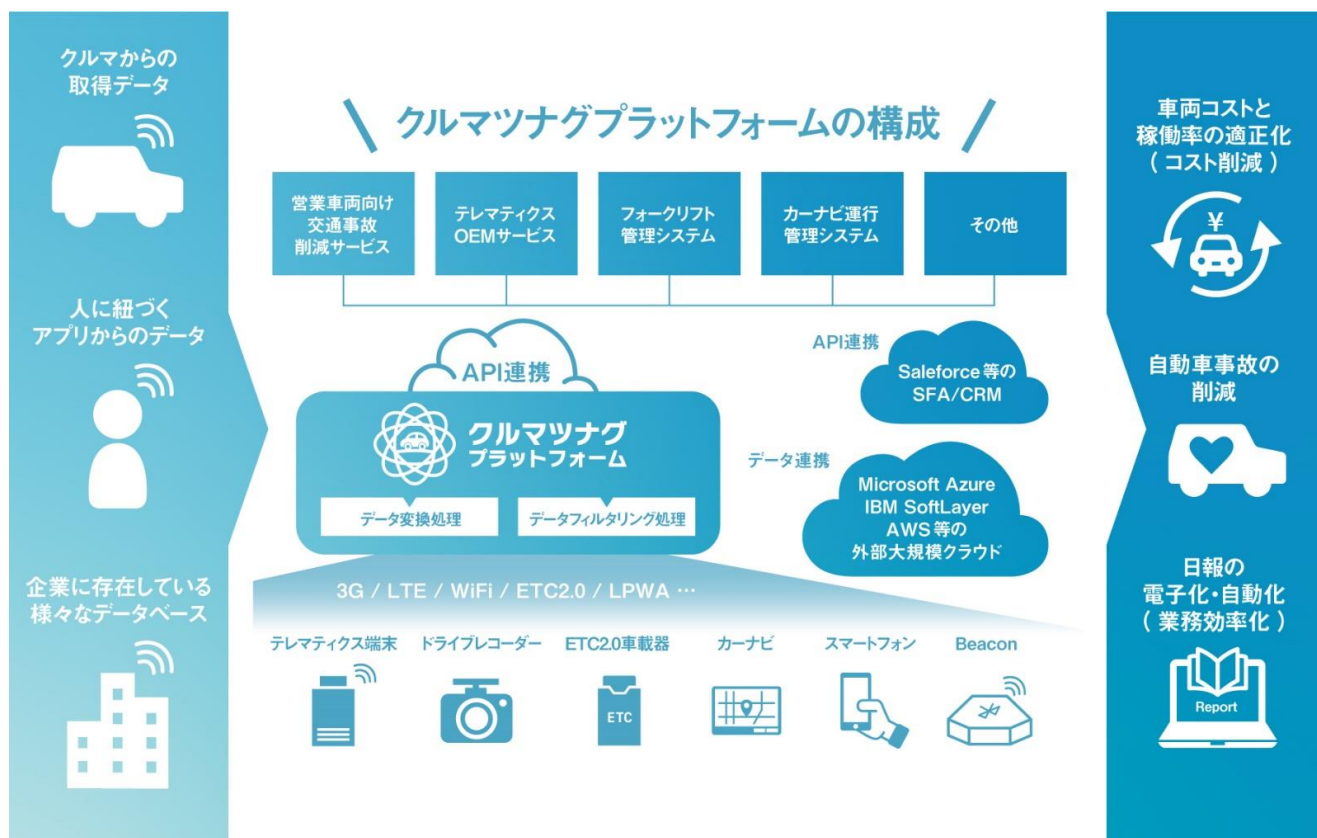
1. クルマツナグプラットフォームのデータ連携API機能で、勤怠管理システムと連携する取り組み
2. 走行データ × 事故データの分析による高度事故防災への取り組み
3. 走行データ × メンテナンスデータ分析による高度予防整備への取り組み

今後広がる Connected World を見据え、本サービスでは、スマートバリューが 2019 年 1 月に JJP1 号投資事業有限責任組合を通じて出資した、革新的デジタルセキュリティ会社である株式会社 BluePlanet-works（本社：東京都渋谷区、代表取締役：中多 広志）のセキュリティプラットフォームの導入を予定しております。

3. 「クルマツナグプラットフォーム」サービス開始の背景

スマートバリューが開発したモビリティ向け IoT プラットフォーム「クルマツナグプラットフォーム」は、自動車に特化した IoT プラットフォームです。「新しく IoT を始めたい」、「既存のシステムにクルマのデータを繋げたい」といったお客様の声を実現すべく、2016 年 8 月より「クルマツナグプラットフォーム」の提供を開始しています。

本サービスは、スマートバリューが 2008 年から培ってきたノウハウを集約しており、データ量が膨大で複雑なために分析が難しいとされている走行データを、瞬時に分析・加工し、見える化が可能となっています。また、一般的なシステムとは異なり、データが膨大すぎるために省かれてしまう微小な走行データまで収集、分析しているため、より正確な走行データを得ることができます。このプラットフォームを土台とする事で、既存の事業・サービスにクルマの IoT を掛け合わせた、新たなサービスの創造を実現可能にしました。



【クルマツナグプラットフォーム】 https://mobility.smartvalue.ad.jp/iot_platform/index.php

【CiEMS 3G】 <http://mobility.smartvalue.ad.jp/ciems.html>

【CiEMS Report】 <http://mobility.smartvalue.ad.jp/report.html>

株式会社スマートバリューの概要

社名 : 株式会社スマートバリュー
代表者名 : 渋谷 順
所在地 : 大阪市西区靱本町2丁目3番2号
設立年月日 : 1947年6月
資本金 : 959,454千円
事業内容 : クラウドソリューション事業・モバイル事業
ホームページ : <https://www.smartvalue.ad.jp/>

野村証券株式会社の概要

社名 : 野村証券株式会社
代表者名 : 森田 敏夫
所在地 : 東京都中央区日本橋1丁目9番1号
設立年月日 : 2001年5月
資本金 : 10,000,000千円
ホームページ : <https://www.nomura.co.jp/>

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社スマートバリュー
社長室 Division つながる創造グループ 広報チーム 山盛
電話 : 06 - 6448 - 1711 メールアドレス : info@g.smartvalue.ad.jp